



## うりぼうの農産物直売所



イベントで行われたクイズ大会（8月30日）  
いなべ市員弁町のふれあいの駅（いなべ駅）

ふれあいの懸

桑名市中心部から三岐鉄道北勢線で約30分。いなべ市員弁町の大泉駅前に農産物直売所「ふれあいの駅つりぼう」がある。



うりぼう前の駐車場で8月30日に開かれた集客イベント「第7回めちゃイナベーション・ロウリボウ」。小雨が降る中、市内をはじめ、桑名市や四日市市などから約1500人が訪れた。

会場では、観光や歴史、文化、産業など、いなべ市の魅力を再発見する「いなべ検定ウルトラクイズ」が行われ、四日市市の男性が優勝賞品のさくらポーグ1頭を獲得。いなべ総合学園高校の生徒たちが考案した「いなべパーク」を販売する露店などが並び、「

ユニティ一FMラジオ局「FMいなべ」による生中継も行われた。北勢線を利用して家族5人で訪れた桑名市の公務員高木秀和さん(43)は「いなべ市は山や川など然が多いのでよく遊びに来る。今回もボスターを見て面白そうだったので参加した」と買い物を楽しんでいた。

# 「食」きっかけに誘客



市貢弁町大泉250-1。営業時間  
は午前・時半～午後5時、火曜日  
休。<http://www.net-uribou.jp/>

元農家でつくる農事組合法人が開設。生産者名を表示した農産物の販売に加え、パンや和菓子、総菜の加工施設、体験工房などがあり、

A black and white photograph of a Shinkansen train, specifically a Tsubame, at a station platform. The train's front is visible, featuring a large window with the number '143' and the Japanese character 'Tsubame'. The background shows other train carriages and station infrastructure.

岐鉄道北勢線は、桑名市の西桑名駅からいなべ市の阿下喜駅までの約20キロを結ぶ路線。JRの線路幅1067ミリよりも狭い762ミリのナローゲージで、「マッチ箱電車」とも呼ばれる。現在運行しているナローゲージの鉄道は、北勢線と四日市あすなろう鉄道、富山県の黒部峡谷鉄道（トロッコ電車）の3路線だけで、貴重な文化遺産になっている。

やトマトなど地元農産物を加工したジエラートを販売するアイスルーフもオープン。今年6月からは、全国の人気直売所が集うインター ネットの野菜販売サイト「ベジバリー」に参加するなど、進化を繰

ける。「いなべ市は名古屋に近く、集客の潜在能力がある。つらまうが拠点施設の役割を果たすことで、市内を訪れる観光客を増やす」といって、できれば」

地域の食材をふんだんに使つた  
レストランをうりぼうに開設する  
ことが日紫亭さんの次の目標だ。  
（新良雅司）

能が低下しても、若くて身体能力が高いために要介護の人が多いが、若年性認

若年性認知症は2009年  
の国の調査で全国3万7  
800人と推定されたが、

行政や介護事業者、企業を対象に研修会を開き、知識の普及を図るほか、来年1月で東京

インダーハイや国体  
五輪に向けて我々も  
応援していきたい」